

環境・エネルギー分野

研究領域

「地球規模の環境課題の解決に資する研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	食料安全保障を目指した気候変動適応策としての農業保険における損害評価手法の構築と社会実装		
研究代表機関	千葉大学 環境リモートセンシング研究センター		
相手国	インドネシア共和国	主要相手国 研究機関	ボゴール農科大学
研究課題の概要			
<p>本研究は、気候変動の適応策である農業保険制度の試行的取り組みを開始したインドネシアを対象として、保険制度の中核となる損害評価を効率的に実施するための新しい損害評価手法を確立することを目的とする。そのために、（1）水稻の干ばつ害、病虫害、水害を損害評価対象災害として、衛星、UAV（無人航空機）、GIS（地理情報システム）、実測調査データなどの空間情報を駆使した客観的、効率的、広域的に損害評価を実施する手法の確立、（2）現行保険制度と新しい損害評価手法の統合と社会実装、（3）損害評価手法の運用および改良に必要な情報基盤の整備、（4）評価手法の開発および運用に関するキャパシティ・ディベロプメントを行う。これにより、インドネシアにおいて気候変動によって生じる農業生産者の経済的損害を軽減し、農業生産の支援体制を確立でき、食料安全保障の実現に寄与する。</p>			